年間授業計画　新様式例

江戸川　高等学校　令和５年度（１学年用）　教科　芸術　　科目 音楽Ⅰ

教　科：芸術　　科　目：音楽Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　9 組

使用教科書：（ ＯＮ！１　音楽之友社 ）

教科　芸術　　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目　音楽Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。	自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことや、表現することができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 歌	表現 器	表現 創	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	歌唱 【知識及び技能】 曲にふさわしい発声、言葉の発音、体の使い方などの技能を身につける。他者との調和を意識して歌う。表現形態の特長を生かして歌う。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりを理解する。言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりを理解する。様々な表現形態による歌唱表現の特徴を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージを持って歌唱表現を創意工夫する。	発声の基本 発声方法 「校歌」 「翼をください」 「少年時代」 「Caro mio ben」 他	○			○	【知識及び技能】 曲にふさわしい発声、言葉の発音、体の使い方などの技能が身についている。他者との調和を意識して歌うことができる。表現形態の特長を生かして歌うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりを理解できる。言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりを理解できる。 様々な表現形態による歌唱表現の特徴を理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージを持って歌唱表現を創意工夫することができる。	○	○	○	8
	器楽 【知識及び技能】 曲にふさわしい奏法、体の使い方などの技能を身につける。他者との調和を意識して演奏する。表現形態の特長を生かして演奏する。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造や、文化的・歴史的背景との関わりを理解する。楽器の音色や奏法との関わりを理解する。様々な表現形態による器楽表現の特徴を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージを持って器楽表現を創意工夫する。	ギターの構造 ギターの基本的な奏法 ギターアンサンブル		○		○	器楽 【知識及び技能】 ギターにふさわしい奏法、体の使い方などの技能を身につける。他者との調和を意識して演奏できる。表現形態の特長を生かして演奏できる。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造や、文化的・歴史的背景との関わりを理解できる。ギターの音色や奏法との関わりを理解できる。様々な表現形態による器楽表現の特徴を理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ギターの表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージを持ってギターの表現を創意工夫できる。	○	○	○	8
	鑑賞 【知識及び技能】 音楽表現の共通性や固有性、自分や社会にとっての音楽の意味や価値を考える。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想や表現上の効果と音楽の構造や、文化的・歴史的背景、他芸術との関わりを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽のよさや美しさを自ら味わって聞く。	「翼をください」 「少年時代」 「Caro mio ben」 イタリア歌曲 ミュージカル 他				○	鑑賞 【知識及び技能】 音楽表現の共通性や固有性、自分や社会にとっての音楽の意味や価値を考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想や表現上の効果と音楽の構造や、文化的・歴史的背景、他芸術との関わりを理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽のよさや美しさを自ら味わって聞くことができる。	○	○	○	2
	創作 【知識及び技能】 音楽を表現する上での共通認識である記譜上の記号や役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想や表現上の効果と音楽の構造をどのように表すか理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽のよさや美しさを自ら表現できるようにする。	音楽理論 楽典の基礎 他			○		創作 【知識及び技能】 音楽を表現する上での共通認識である記譜上の記号や役割を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想や表現上の効果と音楽の構造をどのように表すか理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽のよさや美しさを自ら表現できる。	○	○	○	4
	歌唱テスト 実技テスト 筆記テスト		○	○	○			○	○	○	4

2学期	歌唱 【知識及び技能】 曲にふさわしい発声、言葉の発音、体の使い方などの技能を身につける。他者との調和を意識して歌う。表現形態の特長を生かして歌う。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりを理解する。言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりを理解する。様々な表現形態による歌唱表現の特徴を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージを持って歌唱表現を創意工夫する。	発声の基本 発声方法 「校歌」 「花は咲く」 「Climb Ev'ry Mountain」 「野ばら」 他			○	○	【知識及び技能】 曲にふさわしい発声、言葉の発音、体の使い方などの技能が身についている。他者との調和を意識して歌うことができる。表現形態の特長を生かして歌うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりを理解できる。言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりを理解できる。 様々な表現形態による歌唱表現の特徴を理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージを持って歌唱表現を創意工夫することができる。	○	○	○	8
	器楽 【知識及び技能】 曲にふさわしい奏法、体の使い方などの技能を身につける。他者との調和を意識して演奏する。表現形態の特長を生かして演奏する。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造や、文化的・歴史的背景との関わりを理解する。楽器の音色や奏法との関わりを理解する。様々な表現形態による器楽表現の特徴を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージを持って器楽表現を創意工夫する。	ギターの構造 ギターの基本的な奏法 ギターアンサンブル			○	○	器楽 【知識及び技能】 ギターにふさわしい奏法、体の使い方などの技能を身につける。他者との調和を意識して演奏できる。表現形態の特長を生かして演奏できる。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造や、文化的・歴史的背景との関わりを理解できる。ギターの音色や奏法との関わりを理解できる。様々な表現形態による器楽表現の特徴を理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ギターの表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージを持ってギターの表現を創意工夫できる。	○	○	○	8
	鑑賞 【知識及び技能】 音楽表現の共通性や固有性、自分や社会にとっての音楽の意味や価値を考える。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想や表現上の効果と音楽の構造や、文化的・歴史的背景、他芸術との関わりを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽のよさや美しさを自ら味わって聞く。	「花は咲く」 「Climb Ev'ry Mountain」 「野ばら」 シューベルト歌曲 ミュージカル 他				○	鑑賞 【知識及び技能】 音楽表現の共通性や固有性、自分や社会にとっての音楽の意味や価値を考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想や表現上の効果と音楽の構造や、文化的・歴史的背景、他芸術との関わりを理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽のよさや美しさを自ら味わって聞くことができる。	○	○	○	4
	創作 【知識及び技能】 音楽を表現する上での共通認識である記譜上の記号や役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想や表現上の効果と音楽の構造をどのように表すか理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽のよさや美しさを自ら表現できるようにする。	音楽理論 楽典の基礎 他				○	創作 【知識及び技能】 音楽を表現する上での共通認識である記譜上の記号や役割を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想や表現上の効果と音楽の構造をどのように表すか理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽のよさや美しさを自ら表現できる。	○	○	○	4
	歌唱テスト 実技テスト 筆記テスト		○	○	○			○	○	○	4
3学期	歌唱 【知識及び技能】 曲にふさわしい発声、言葉の発音、体の使い方などの技能を身につける。他者との調和を意識して歌う。表現形態の特長を生かして歌う。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりを理解する。言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりを理解する。様々な表現形態による歌唱表現の特徴を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージを持って歌唱表現を創意工夫する。	発声の基本 発声方法 「校歌」 混声四部合唱 合唱祭課題曲 合唱祭自由曲 他				○	【知識及び技能】 曲にふさわしい発声、言葉の発音、体の使い方などの技能が身についている。他者との調和を意識して歌うことができる。表現形態の特長を生かして歌うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりを理解できる。言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりを理解できる。 様々な表現形態による歌唱表現の特徴を理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージを持って歌唱表現を創意工夫することができる。	○	○	○	6
	創作 【知識及び技能】 音楽を表現する上での共通認識である記譜上の記号や役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想や表現上の効果と音楽の構造をどのように表すか理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽のよさや美しさを自ら表現できるようにする。	音楽理論 楽典の基礎 創作活動				○	創作 【知識及び技能】 音楽を表現する上での共通認識である記譜上の記号や役割を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想や表現上の効果と音楽の構造をどのように表すか理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽のよさや美しさを自ら表現できる。	○	○	○	2
	器楽 【知識及び技能】 曲にふさわしい奏法、体の使い方などの技能を身につける。他者との調和を意識して演奏する。表現形態の特長を生かして演奏する。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造や、文化的・歴史的背景との関わりを理解する。楽器の音色や奏法との関わりを理解する。様々な表現形態による器楽表現の特徴を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージを持って器楽表現を創意工夫する。	ハンドベルの構造 ハンドベルの基本的な奏法 ハンドベルアンサンブル			○	○	器楽 【知識及び技能】 ハンドベルにふさわしい奏法、体の使い方などの技能を身につける。他者との調和を意識して演奏できる。表現形態の特長を生かして演奏できる。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造や、文化的・歴史的背景との関わりを理解できる。ハンドベルの音色や奏法との関わりを理解できる。様々な表現形態による器楽表現の特徴を理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ハンドベルの表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージを持ってハンドベルの表現を創意工夫できる。	○	○	○	6
	実技テスト			○				○	○	○	2
											合計 70